

第 25 章

災害及び事故

第 25 章 災害及び事故

水稲被害

平成 17 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 6980ha、被害量 1150t、被害率 3.7%で、前年に比べ被害面積は 3420ha (32.9%)の減少となり、被害量は 30.3%の減少となった。

労働災害

平成 17 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 102 人、負傷者(休業4日以上)と合わせて 9113 人で、前年より 524 人の減少となった。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2443 人で全体の 26.8%を占め最も多く、以下、建設業 1531 人(構成比 16.8%)、商業 1288 人(同 14.1%)の順となっている。最も多い製造業の中では、金属製品製造業が 803 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 17 年における府内の火災件数は、前年より 253 件減少し 3567 件(前年比 6.6%減)、死傷者は 103 人増加し 839 人(同 14.0%増)となっており、損害額は 9 億 7979 万円増加の 69 億 2337 万円(同 16.5%増)であった。

月別では、1 月の 341 件(構成比 9.6%)が最も多く、次いで 4 月の 337 件(同 9.4%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1407 件(構成比 39.4%)で最も多く、次いで泉北地域 492 件(同 13.8%)、北河内地域 429 件(同 12.0%)となった。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 214 件減少し 1366 件(前年比 13.5%減)で最も多く全体の 38.3%を占め、次いで、

「都市・プロパンガス関係」が 59 件減少し 517 件(前年比 10.2%減、構成比 14.5%)となっている。

また、平成 17 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 2103 棟増加し 24 万 9252 棟(前年比 0.9%増)となった。

交通事故

平成 17 年における府内の交通事故発生件数は、6 万 6105 件(前年比 2.2%減)、死者 268 人(同 14.4%減)、負傷者 7 万 9502 人(同 2.3%減)となった。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 6 万 3802 件、歩行者 63 件、不明 2240 件となっている。

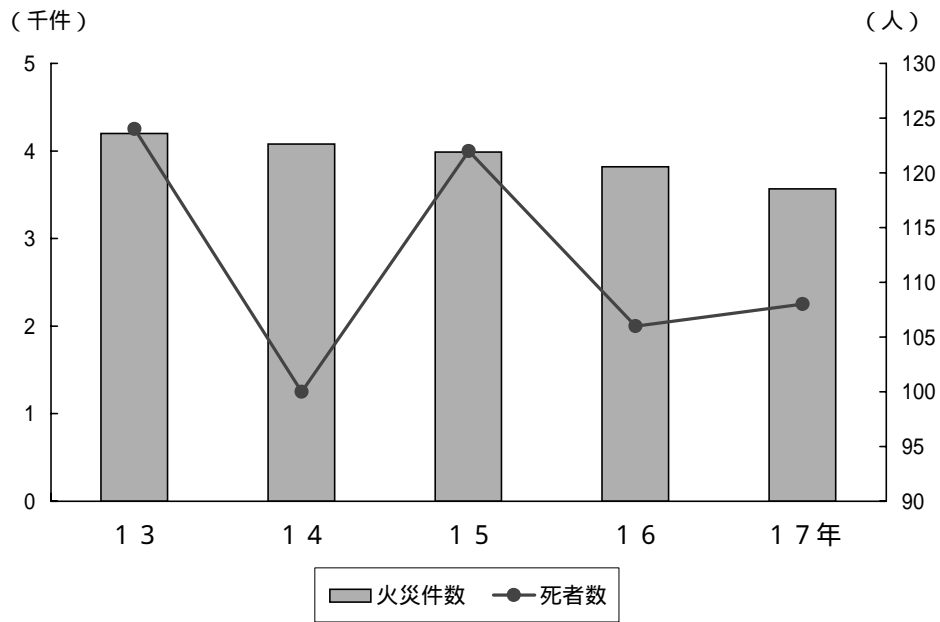
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 3 万 2521 件と 51.0%を占め最も多く、以下、普通貨物自動車 8140 件(構成比 12.8%)、軽乗用車 7477 件(同 11.7%)、軽貨物自動車 5651 件(同 8.9%)、原付(50cc 以下)4870 件(同 7.6%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認 3 万 556 件(構成比 47.9%)、前方不注意 1 万 509 件(同 16.5%)、動静不注視 7170 件(同 11.2%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 5117 件で、死者 75 人、負傷者 5216 人となっており、横断中の事故が 3023 件と全体の 59.1%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、93 万 3828 件(前年比 1.9%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の 8 万 633 件(構成比 8.6%)が最も多く、以下、大阪府 6 万 6105 件(同 7.1%)、愛知県 6 万 81 件(同 6.4%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

